

<コラム> 第20回『2015年からの未来づくり』

協同組合Masters顧問 霜田 稔 (Mastersベトナム事業部ホーチミン駐在コーディネーター)

明けましておめでとうございます。今日は涼しい、布団カバーがないと少々肌寒さを感じたぐらい。今回のベトナム通信は、45年前に総理府から京大グループに委託された“21世紀の日本の設計”という国土ビジョン作りの一部に関わらせていただいた関係から、その時の問題意識と提起、ほぼ50年たったの現在の予測結果と、その再評価をしながら、ベトナムのこれからをどう考えるか論じてみたい。

この国土ビジョン作りは、京大西山研究グループを始め、東大丹下研、早稲田吉阪研など、5グループに各数千万円[今なら数億円]の予算をつけた総理府主催の国土の設計[40年先2005年から10年、まさに現在]を見通してビジョンを提示という委託研究であった。関西グループは西山卯三先生主査の考えで、単純な部局的計画となるのをさげ、学際的研究としての取り組みをし、どんな問題が発生し、それにどう対処して、未来を国民が主体的に取り組むにはどうしたらよいかを明らかにするという至極当たり前の基本姿勢で行われ、50チームの分野別の調査研究グループを作り、産業から技術、情報、ロボット、化学、冶金、原子力、労働、産業、自然保全、景観、交通、環境などの分野の将来像とそのための政策のあり方を問い、その上で国土のあり方を自治生活圏構想として提起しました。早稲田グループはアジア志向を前面に掲げ、森の国土像、丹下研は3次産業主導、新幹線全国網とも言うべき技術国土像でした。関西案では多くの分野で問題を提起し、中にはその基本的解決策も国民や政府に提示していることは画期的でした。今でも4分冊勁草書房で“21世紀の設計”としてまとめて出版されています。今から見ると問題点の指摘は正しく、対策の方向も正しかったけれど、自民党の体制側には受け入れられなかったものが大部分ですが、住宅、老人対策、脱マイカー交通、景観、文化財、自然保護、環境衛生など画期的で現在でも課題としてコンセンサスを得られるものですし、危機感があったのですが、具体的な対策は出せなかったものは、石油資源依存のエネルギー対策や地域生活共同体の維持発展方策や地域教育の重要性などであったと思います。また土木分野や原子力など体制依存的で、問題意識が専門領域を超えられず、またマルクス系国際経済論などもイデオロギーに左右され、問題把握さえ矮小化されている印象でしたし、未来を考えること自体が邪道だと拒否した地理学の大家がいました。しかし全体的には冷戦構造の崩壊やグローバリズムの急展開、そしてアジアの興隆を見通すことはできず、批判はしても米の世界支配は変わらないと見ていたのだと思いますし、それは結果として、経済成長政策オリーの取り組みとなり、今の高齢化、産業の空洞化、家族と地域社会の崩壊や原子力村や医療に見られるように国家依存の利権化が横行した社会をもたらし、時代閉塞に陥っている結果となっているのではないかと思います。私は、この21世紀ビジョンで指摘されている問題点、課題を含め、さらに1979年代から2010年代今日までの日本社会の歩みを振り返って、次の8か条の課題追求が今後の継続すべき課題として提起すべきではないかと要約しています。その際、これからの日本の未来を決定するのは、政府の政策選択以上に、国民の自主的学習とその合意形成の努力ではないかと思っています。

- ①企業の経済利益とあわせて社会貢献の役割を生かす。
- ②実践を通じた創造的活動の促進と国民的訓練
- ③グローバル化の中の地域経済循環領域拡大と地域共同体の再構築
- ④悉皆成仏(しっかいじょうぶつ)の仏教的共生自然観
- ⑤地域教育システムの再構築
- ⑥地方主権の元に、地方の主体的ガバナリティを高める。
- ⑦脱モーターゼーションとコンパクトシティ化の促進
- ⑧原発のトリウムサイクルへの転換と自然再生エネルギーの拡大。特にプルニウム削減、テロ防止、ウランプルニウムを凌駕する資源とエネルギー創出力、爆発なしの安全性、小型化分散可能なトリウム炉の導入とともに、自然再生型エネルギー拡大を平行実施

※1980年頃が日本の高度成長からの次への発展への時期でした。技術輸出が始まり、創造科学が提起され、テクノポリスが浮上し、またムーンライト計画が飛躍するソーラー技術は世界でトップでしたし、危ないウラン軽水炉という原発に変わるトリウム溶融塩炉の推進体制が出来上がった時期でした。この方向を選択していれば、日本は先進国中の先進国となっていたと思います。

<新規会員PR>

会社名:(株)ヤマガタ 住所:岐阜県 業種:建設業 平成26年11月入会

弊社は1918年創業し創業96周年を迎えております。

山林経営に始まり、製材業へ、時代の変化と共に弊社の業態も変化し、現在は岐阜県、愛知県、三重県を中心に住宅建築にかかわる資材納入、建築工事、ビル等の非住宅の内装工事、外装工事、設備機器の取り付け工事、リフォーム事業、さらには住宅の全館空調工事、並びに住宅建設にも分野を拡大し、近年は太陽光発電システムの普及、マンションのリノベーションにも力を注いでおります。



お得意先様ならびにエンドユーザーの皆様への「お役立ち」をいかにするかを常に考え100周年に向け「私たちは地球環境に優しい住まいづくりを自信と責任を持って提案します。」の経営方針のもと、さらなる「お役立ち」をまいります。

<月例会発表商材> 毎月第3水曜日 1月21日(水)15時~ Masters事務所にて開催

- 1. 省エネ商材の提案 小川電機(株) 百田義典 / 協同組合Masters 米川友則
 - 2-1. ピココートアルファ 2-2. 犬用健康フード
 - 2-3. eco-SPRAY 2-4. 小型高濃度酸素発生器oxy's(オキシーズ)
 - 総合印刷機材(有) 廣田武史 / 協同組合Masters 米川友則
- ※最後にトリニティーシリーズを発表予定の(株)いつみが発見が急遽トラブルにて中止

- 【凡例】
- ①商品名
 - ②対象者
 - ③従来品との違い
 - ④アピールポイント

1. 省エネ商材の提案 小川電機(株) 百田義典 / 協同組合Masters 米川友則(40~45分)

- ①LED M/40シリーズ
 - ②一般企業・公共施設・医療施設等
 - ③工事レスで簡単にLED化でき、しかも国産品で5年保証付きです。
 - ④今年春の電気料金代値上げ、省エネ等の問題をまずはこの商品でやってみませんか! 簡単に短時間でLED化できます!
- 電気代削減→OK
Co2削減→OK
省エネ→OK
- 思ったより明るい!



思ったより簡単!



・発表内容
LED化の流れ~商品紹介(実機デモ)~削減効果など

2-1. ピココートアルファ 総合印刷機材(有) 廣田武史 / 協同組合Masters 米川友則(全体:1時間20分程度)

- ①ピココートアルファ01・02 (少し組成を変えた06もあります)
- ②車両関係事業者、建築及び管理会社、清掃業者、個人
- ③とにかく簡単に作業できて、持続性があること(単純なガラスコーティングでなく高分子ポリマーを利用)
- ④車両の撥水・艶出しが基本であるが、ガラス、衛生陶器、タイル、バスフなどの撥水・コーティングに効力を発揮して汚れにくくする働きもあって各現場で喜ばれています。



2-2. 犬用健康フード 味名食品 早川慎一 / 総合印刷機材(有) 廣田武史

- ①ワンちゃん元気マグロッキー(愛犬のための健康おやつ)(かぼちゃクッキーなどの姉妹品あります)
- ②愛犬家の方々、ペット関連業者の方々、イベントおよびヘルパー業者の方々
- ③天然まぐろをベースにペルー直輸入のマグを配合した新しいコンセプトのドッグフード
- ④多様な栄養素を加えた新しい健康フードでしかも完全MADE・IN・JAPAN。製造元の早川社長が何と築地まで買い出しに行ってます。本物のワンちゃん向け健康フードです。



2-3. eco-SPRAY

- ①eco-SPRAY
- ②車両を所有されている事業者、車両関係事業者、漁船を含めたディーゼルエンジン燃焼業者
- ③まったくの自然素材だけを成分に作られている
- ④今回は国内外の事例紹介と試みとしての車以外の燃焼に関わるものへの可能性とテスト状況をお話して、皆様のご質問にお答えしたいと思います。



2-4. 小型高濃度酸素発生器oxy's(オキシーズ)

- ①オキシーズ(レンタル、課金用としてオートパラダイス)
- ②個人(一家に一台目標)、宿泊施設、フィットネスクラブ、学習塾等、福祉施設、道路関連施設
- ③医療用の申請をしていないが、現行の医療用高濃度酸素発生器の性能を担保している
- ④今回は国内設置事例紹介と特に高濃度酸素の吸引がもたらす効果でクロスアップされてきたものを紹介します。さらに、Mastersでも推進いただいておりますレンタルについての再説明をいたします。



※上記のとおり(株)いつみの発表が中止となったため、総合印刷機材(有)の発表後の質疑応答を延長。

次回月例会は、2月18日(水)15時より開催します。

※独自の技術・商材に興味や情報をお持ちの方、コラボレーションにご興味のある方はお気軽にご連絡下さい。連絡先: TEL06-6110-8050 E-mail: yonekawa@masters.coop 協同組合Masters 担当: 濱出、米川